

相談内容概況

山形いのちの電話では、午後1時から10時まで3交代で電話を受けております。2018年度に受け付けた電話相談は6,615件、内訳としては男性3,478件・女性3,137件、いわゆる働き盛りと言われる30代から50代の相談が多いのですが、2018年度は70代以上の方からの電話が87件と前年度の65件から増えています。高齢者の相談内容は、「家族」「夫婦」「対人」の順で相談が寄せられており、全世代での「精神」「人生」「家族」の相談が多いことを考えると70代の方が身近な場面で生きづらくなっているのではないかと思います。

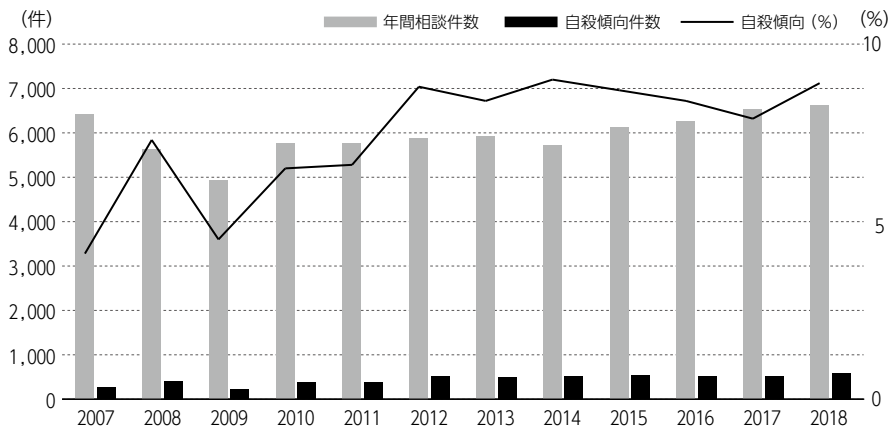
いのちの電話は自殺予防を目的にしていますが、自殺傾向ある電話は8.9%です。近年目立つのは、自殺したいと直接訴えるだけでなく、積極的に生きる意味を見失っている方たちが多い印象があります。誰かと心を通わせ、誰かに必要とされる…。自分が生きている証は、他者との交流で得られるものです。私たちは、つぶやきを拾いながら同じ空の下にいる隣人として声をかけ続けていきたいと思っています。

また、過去の虐待やいじめなど辛い体験を訴える電話も多くなっています。生まれてから亡くなるまで、連続した時間の中で生きている私たちは、決して後戻りできません。しかし困ったことに心は戻ってしまうのです。そこに留まって先に進めない方や、急にその時に戻ってしまう。振り払おうとしても心の闇は簡単に晴れません。電話で苦しい思いや悔しかった思いを語るなかで、少しずつ薄まってくれればと願っています。

厚生労働省の補助事業の「自殺予防フリーダイヤル」は、毎月10日深夜も電話を受けており、山形センターでは年間329件の受信がありました。いのちの電話連盟の調査で、20時から23時に相談電話が集中していることが分かりました。一日の終わりにひとりで抱え込まざるを得ない方が、電話の向こうに大勢いることに驚かされます。自殺傾向のある電話は85件、25.8%と通常の電話より多くなります。少しでも電話を受けたいと全国のいのちの電話が協力体制を組んでおり、山形いのちの電話もその一員として事業に参加しています。

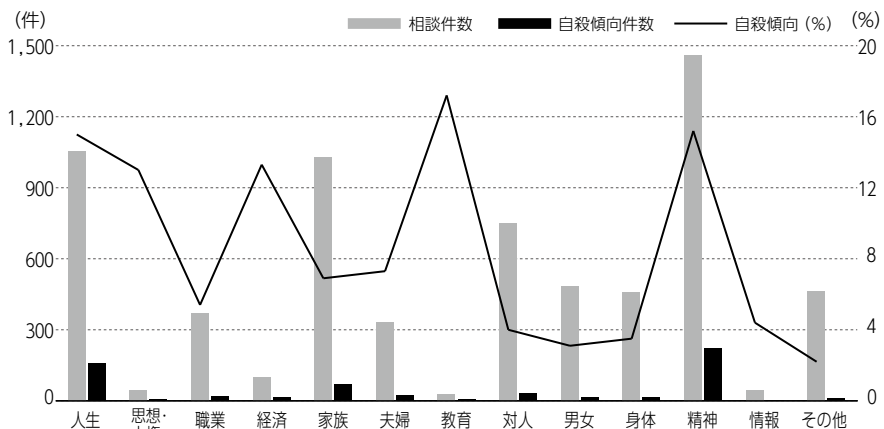
山形いのちの電話の相談員は、一本でも多くの電話相談を受けたいと頑張っております。これからも温かいご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

① 年間相談件数と自殺傾向件数の推移



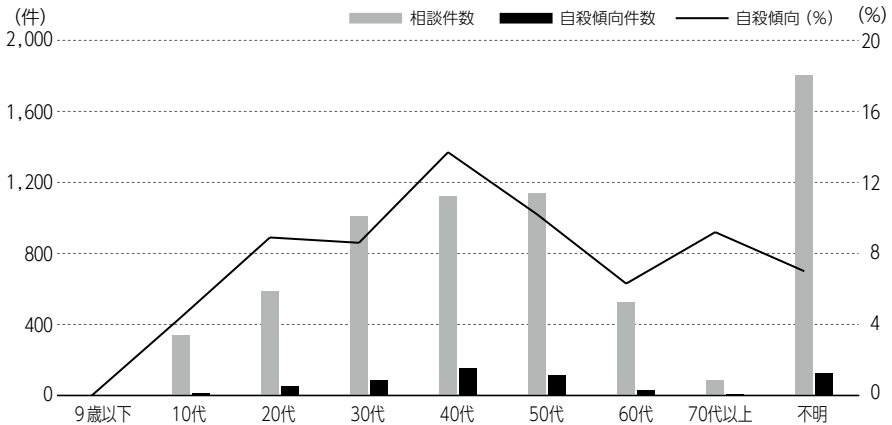
年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
年間相談件数	6,419	5,636	4,930	5,754	5,775	5,883	5,925	5,713	6,124	6,252	6,532	6,615
自殺傾向件数	264	409	224	372	384	518	496	515	533	525	516	592
自殺傾向(%)	4.1	7.3	4.5	6.5	6.6	8.8	8.4	9.0	8.7	8.4	7.9	8.9

② 内容別相談件数と自殺傾向件数



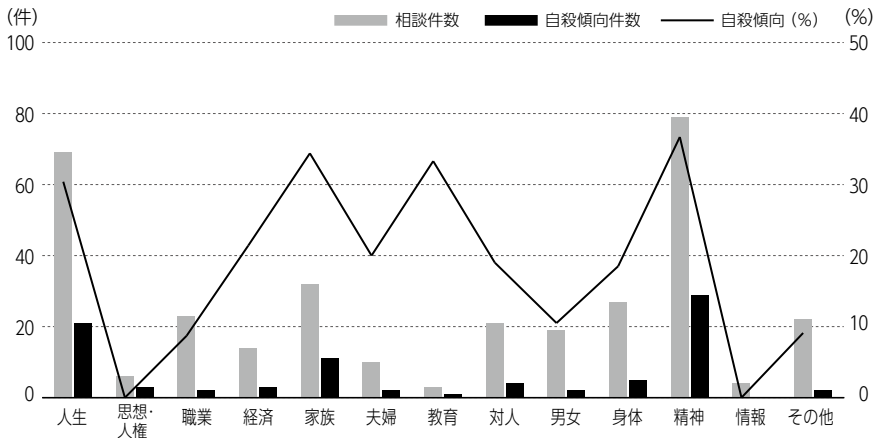
項目	人生	思想・人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	総計
相談件数	1,053	46	370	98	1,030	330	29	749	484	457	1,460	45	464	6,615
自殺傾向件数	158	6	20	13	71	24	5	30	15	16	222	2	10	592
自殺傾向(%)	15.0	13.0	5.4	13.3	6.9	7.3	17.2	4.0	3.1	3.5	15.2	4.4	2.2	8.9

③ 年代別相談件数と自殺傾向件数



項目	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
相談件数	0	338	586	1,010	1,124	1,142	525	87	1,803	6,615
自殺傾向件数	0	15	52	87	154	116	33	8	127	592
自殺傾向(%)	0.0	4.4	8.9	8.6	13.7	10.2	6.3	9.2	7.0	8.9

④ フリーダイヤル内容別相談件数と自殺傾向件数



項目	人生	思想・人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	総計
相談件数	69	6	23	14	32	10	3	21	19	27	79	4	22	329
自殺傾向件数	21	3	2	3	11	2	1	4	2	5	29	0	2	85
自殺傾向(%)	30.4	0.0	8.7	21.4	34.4	20.0	33.3	19.0	10.5	18.5	36.7	0.0	9.1	25.8